

(様式3)

令和4年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	神社海の駅	所在地	伊勢市神社港68番1
指定管理者名	特定非営利活動法人神社みなとまち再生グループ	指定期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで
設置目的	神社海の駅は宇治山田港及び勢田川の水運を活かした地域づくりの拠点施設です。		
業務内容	・みなとまちづくり活動事業の実施 ・駅舎施設の維持管理業務		
施設概要	施設面積:290㎡、 施設内容:鉄筋コンクリート一部木造2階建(事務室、会議室、研修室)		
職員体制	事務職員4人		
施設所管課名	監理課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	2,890,800	2,970,000	2,983,200	13,200
	利用料金	12,510	17,100	27,110	10,010
	その他	23,839	23,822	30,000	6,178
	計(a)	2,927,149	3,010,922	3,040,310	29,388
	支出				
	人件費	2,270,700	2,311,450	2,357,710	46,260
	管理運営費	656,449	699,472	682,600	△ 16,872
	その他	0	0	0	0
	計(b)	2,927,149	3,010,922	3,040,310	29,388
収支差引額(a)-(b)		0	0	0	0

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	職員の勤務体制における職員の交代に伴い、一時的にダブルシフトを組んでいたため、人件費がやや増加となった。
----------------------------------	--

3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
事業計画書に従った管理を行った。 今後もさまざまなみなとまちづくり活動を行ってきたい。	施設の管理については適正に行われていた。 みなとまちづくり活動にも積極的に取り組んでおり、設置目的に資する拠点づくりに貢献している。 3年ぶりに実施した地域みなとまつりにおける、みずきⅡ世体験乗船会という新たな取り組みもあった。 伊勢市主催の取り組みについては、アンケートを実施して評価を把握しているが、自主事業についても、同様にニーズを探り、今後の活動に活かしてもらいたい。 HPなどを活用し、今後も更なる情報発信をしてもらいたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

神社海の駅

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については、事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、施設の目的である「地域拠点づくり」になることができた。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的はおおむね達成できた。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	利用者数の目標設定を行っていないが、夏休み子ども体験ツアーや各種交流イベントを新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら実施したことにより、利用者数は令和3年度より増加した。	B	新型コロナウイルスの終息後を見据えて、利用者数の増を見込める取り組みについて検討されたい。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書のとおり供用日数・時間を達成した。	A	事業計画書に計画された運営が行われた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。	A	作業責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制としても効率化を図りながら、業務が滞らないよう行うことができた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書にうたわれた毎日の業務報告、打合わせを通じて意思疎通を行った。	A	事業計画書どおりの毎月の報告、毎月の打ち合わせを行うことができた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	業務報告書等で適正に行っている。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	新型コロナウイルス感染防止対策のため、みなとまつり等交流行事の開催中止や縮小等があったが、開催を通じて地域の振興が図れた。	B	コロナ禍で中止や規模の縮小等があったが、地域の振興は図れた。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱は個人情報の点からも適正、慎重に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿は漏れなく作成を行った。	A	帳簿等は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては、厳重にチェックを行った。	A	個人情報漏洩などの問題は発生していない。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	伊勢市個人情報保護条例など各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	NPO法人のホームページにより、情報提供を行った。	B	ホームページの更新などにより、利用者の増加を図られたい。
	②利用者の平等な利用	A	打合せの中で情報共有を図り、サービス水準の確保を図った。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	ホームページを利用した情報提供を行った。	B	老人会活動も行っていることから、紙ベースでの情報提供も行っているが、更なる情報発信に努められたい。
	④非常時・緊急時の対応	B	事業計画書に記載されたマニュアルどおりに適切に対応しているが、職員の訓練は行っていない。	B	緊急時のマニュアルを使用するような事態は発生しなかったが、緊急時を想定した訓練を行う必要がある。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	伊勢市に入る苦情は発生していない。
	⑥自主事業	B	利用者ニーズに即した自主事業を行っているが、アンケートとしては実施しなかった。	B	アンケートなどで利用者のニーズを把握する取り組みを行っていない。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	B	令和3年度に運航を開始したみずきⅡ世を活用した新たな取り組みが行われたが、評価はされていない。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検、機能確認、美観確認を行った。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もできている。
	②備品等の管理	A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵の管理は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。